

メタボリックシンドロームを 予防するペプチド

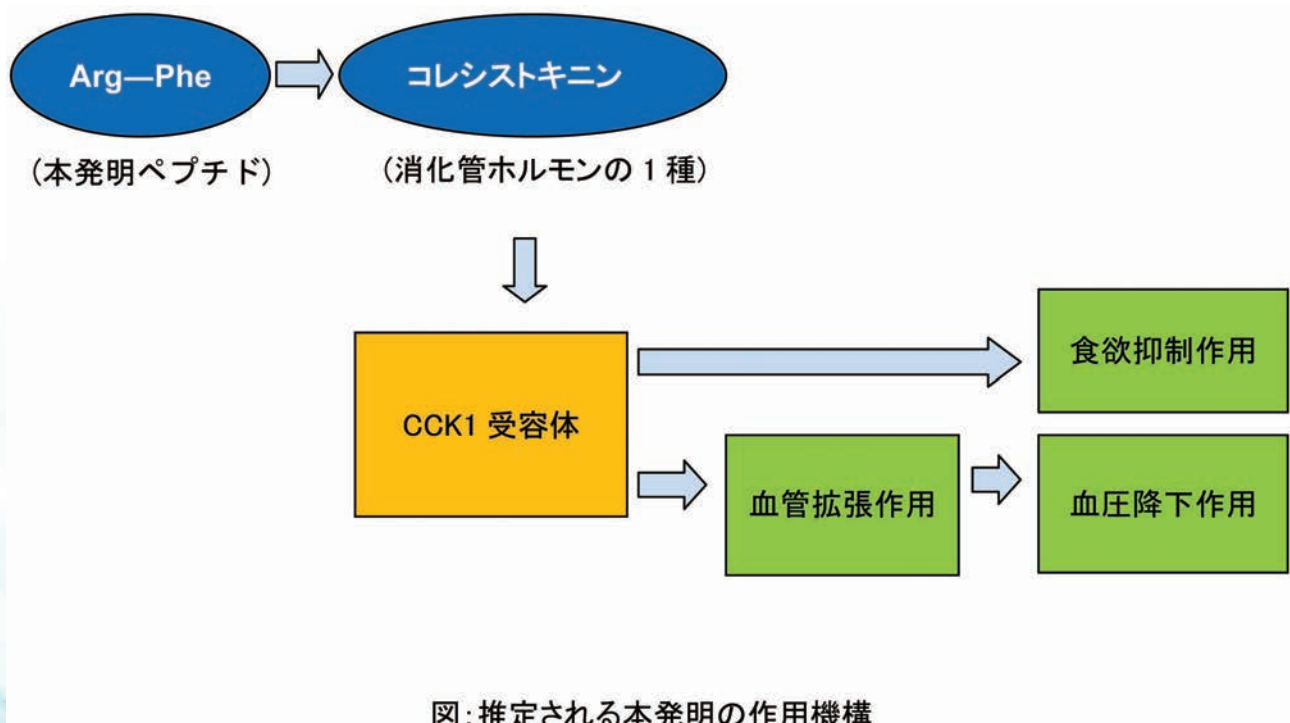
技術背景

メタボリックシンドロームは肥満、高血圧、高血糖、高脂血症のうち、複数の要因が合併して発症している状態で、心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化症疾患の発症リスクを高めることから、その予防が強く望まれています。

研究技術

本発明はアルギニン（Arg）とフェニルアラニン（Phe）の2種類のアミノ酸が連結したペプチドで、血管を広げることにより、血圧を下げる機能を持ちます。また、本発明のペプチドは食欲を抑える作用も併せもち、メタボリックシンドロームの発症を効果的に阻止できると期待されています。

また、本発明のペプチドは経口の摂取でも、その機能が発揮されることも特徴の1つで、メタボリックシンドローム予防用のサプリメントや、食品としての応用が考えられています。



技術の特徴

- ・従来の食品由来ペプチドよりも強力な動脈弛緩作用・血圧降下作用をもちます。
- ・摂食抑制作用が見込めます。
- ・食経験が豊富な食品蛋白質に含まれているため、安全性は高いです。
- ・経口摂取 / 経口投与が有効です。

特許関係

出願番号：特願 2010-260162

出願人：国立大学法人 京都大学

発明者：大日向耕作 山田優子

発明の名称：ペプチド

研究者

京都大学
大学院農学研究科 食品生物科学専攻

准教授 大日向 耕作

研究テーマ

食品生理機能分野では、食品の生体調節機能に注目し、食品成分が生体調節系に対して示す作用を、個体、臓器、細胞遺伝子および健康の維持・増進にとって真に望ましい食品とは何かを究明することを目指しています。

問い合わせ先

関西ティール・エル・オー株式会社

〒606-8501 京都市左京区吉田本町京都大学産官学連携本部内

TEL:075-753-9150 / 075-353-5890 FAX:075-753-9169 Email:tlo@kansai-tlo.co.jp